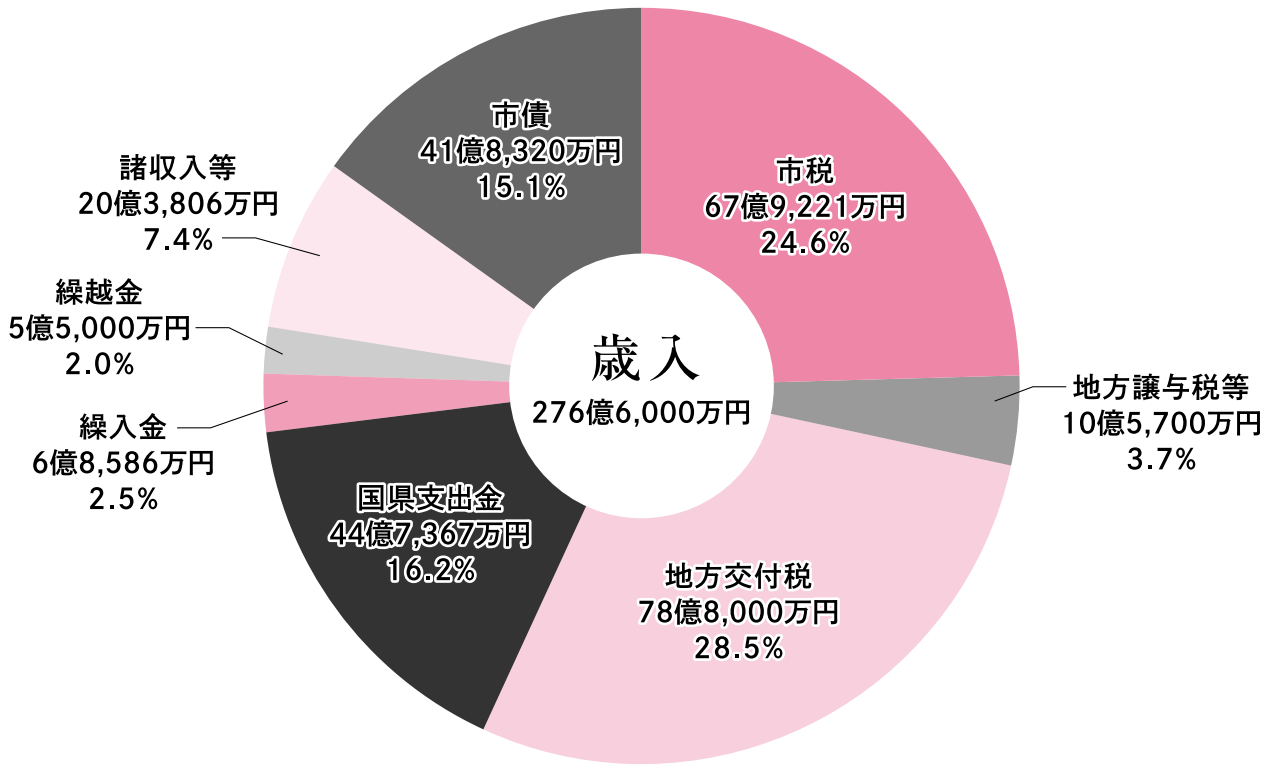


平成30年度 当初予算



- ▶ 平成30年度の一般会計当初予算は、276億6,000万円で、前年度と比べて13億1,800万円の増加となりました。
- ▶ 歳入のうち市税は、景気動向をもとに法人市民税の増加を見込みましたが、固定資産税や市たばこ税の減少が見込まれ、全体では前年度と比べて6,743万円の減少となりました。
- ▶ 歳入の28.5%を占める地方交付税は、普通交付税における市町合併の特例措置が段階的に縮小されており、全体では前年度と比べて5,000万円の減少となりました。

- ▶ 国や県の政策に沿って、特定の目的に使わなければならない国県支出金は、対象となる事業の増加により、前年度と比べて6億9,677万円の増加となりました。
- ▶ 繰入金は、駅北大火復興関連事業や防災関連事業に活用するため、駅北大火復旧復興基金やふるさと糸魚川応援基金を繰り入れたことから、前年度と比べて2億2,741万円の増加となりました。
- ▶ 長期的な借入れである市債は、次期ごみ処理施設整備事業等の大型施設整備事業の増加により、前年度と比べて5億6,040万円の増加となりました。

一般会計当初予算額の推移

